



各 位

平成20年9月19日

上場会社名 エナジーサポート株式会社
 代表者名 取締役社長 山本 有一
 (コード番号 6646 名証二部・大証二部)
 問合せ先 取締役管理本部副本部長 村山 幹樹
 (TEL 0568-67-0851)

当社の親会社 日本ガイシ株式会社
 代表者名 取締役社長 松下 雋
 コード番号 5333 東証一部・大証一部
 名証一部・札証

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年4月30日の決算発表時に公表いたしました平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の業績予想を下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成21年3月期第2四半期連結累計期間業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	第2四半期 (累計)純利益	1株当たり 第2四半期 (累計)純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,100	150	200	100	4.11
今回修正予想(B)	6,800	60	110	10	0.41
増減額(B-A)	△300	△90	△90	△90	—
増減率(%)	△4.2%	△60.0%	△45.0%	△90.0%	—
(ご参考)前年同期実績	7,283	52	102	18	0.74

(2) 個別

	売上高	営業利益	経常利益	第2四半期 (累計)純利益	1株当たり 第2四半期 (累計)純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,340	90	150	80	3.29
今回修正予想(B)	6,150	50	120	20	0.82
増減額(B-A)	△190	△40	△30	△60	—
増減率(%)	△3.0%	△44.4%	△20.0%	△75.0%	—
(ご参考)前年同期実績	6,269	81	141	54	2.24

(3) 修正の理由

連結業績につきましては、景気減速の影響などによる民需向電気機器の需要の落ち込みにより連結売上高は300百万円の減少を見込んでおります。

利益面につきましては、売上高の減少見込みや原材料価格の更なる高騰などによりまして営業利益、経常利益ともに減少を見込んでおります。第2四半期(累計)純利益につきましては、後述の特別損失計上により減益幅の拡大を見込んでおります。

個別業績につきましても、連結業績と同様の理由により売上高、営業利益及び経常利益の減少、第2四半期(累計)純利益の減益幅の拡大を見込んでおります。

2. 平成21年3月期通期業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

(1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,300	350	450	260	10.70
今回修正予想 (B)	14,000	250	360	140	5.76
増減額 (B-A)	△300	△100	△90	△120	—
増減率 (%)	△2.1%	△28.6%	△20.0%	△46.2%	—
(ご参考)前期実績	14,541	251	347	49	2.05

(2) 個別

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,900	260	370	200	8.23
今回修正予想 (B)	12,700	200	330	130	5.35
増減額 (B-A)	△200	△60	△40	△70	—
増減率 (%)	△1.6%	△23.1%	△10.8%	△35.0%	—
(ご参考)前期実績	12,678	236	344	49	2.04

(3) 修正の理由

連結業績につきましては、第3四半期以降の回復を見込んでおりますが第2四半期(累計)の落ち込みの影響により、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益の減少を見込んでおります。個別業績につきましても、連結業績と同様の理由により売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益の減少を見込んでおります。

3. 特別損失の計上について

既納入製品の一部に不具合が発生したため、第2四半期において取替費用等の引当を行うものです。これにより個別、連結ともに特別損失を60百万円程度計上する見込みであります。

(注記)

上記の予想は、発表日現在で得られた情報に基づき作成したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、状況の変化によって予想数値と異なる場合があります。

以上